



ながの労福協

〈ライフサポートセンター〉

一般社団法人 長野県労働者福祉協議会
〒380-8710
長野市立町978-2 労済会館内
TEL026-232-6667 FAX026-232-6672
E-mail n-rofuku@athena.ocn.ne.jp
http://www.lsc-nagano.or.jp

発行人 中山 千 弘
編集人 今 井 啓 次

第287号2014年11月7日

「労働組合と労金・全労済の関係再構築に向けて」 ～ともに運動する主体へ～

労金・全労済合同新任運営委員研修会開催!

10月29日(水)、メルパルク長野において、2014年度 労金・全労済合同新任運営委員研修会が開催され、労金運営委員55名、全労済運営委員24名が参加しました。

研修会は、労働者福祉中央協議会アドバイザーの高橋均講師より「労働者自主福祉運動の理念・歴史、そして課題」～労働組合と労金・全労済の関係再構築に向けて」と題して、参加者に対して合同で講演が行なわれました。

講師より、労働組合の歴史における労金・全労済の位置づけから、現在の労働者自主福祉運動の展開を詳しく解説・講演いただき、参加者からは「支え合い・助け合いがいかに重要なことか、実感することができた」等の声がありました。

午後からは労金・全労済のそれぞれに分かれて独自の研修会を開催しました。



合同研修会の様子

労働金庫の研修



講演する小林講師

労金新任運営委員研修会では、長野電鉄労働組合執行委員長、ろうきん運動

推進アドバイザーである小林君男講師より「労働組合運動の現状」「運営委員会活動事例の紹介」「新任運営委員の皆様へのお願い」等についてパワーポイントやDVDを用いて、講演していただき、参加者からは「具体的事例紹介があり、非常にわかりやすかった」「ろうきんと労組の関係や歴史の部分で、まだまだ学ばなければいけないと感じる」等の声がありました。

また、グループに分かれての意見交換会では「新任運営委員として何をしたらよいかわからなかったが、同じ悩みを持つ仲間と話が出来てよかった」「他の労働組合の活動内容が聞けてよかった」等の感想を多くいただきました。

研修会に参加した皆さんが、組合員とろうきんを繋ぐパイプ役としてともに行動いただける有意義な研修会となりました。

全労済の研修



研修会の様子

全労済の研修は、(株)ベストウェイコンサルティングの田中至氏を講師に、ワールドカフェという方式で

行いました。

「地区運営委員として役割意識を持ち、どのように推進していくべきか。」をテーマに、各人の思いを自由に模造紙に書き出し意見交換をします。それから、各グループの代表者(ホスト)を残して、他のメンバーは別のテーブルに移動して新しいメンバーと意見交換を行います。その際、模造紙に書かれたアイデア等に、さらに自分の考えを書き加えていきます。これらを繰り返し、多くの参加者とコミュニケーションを図ることができました。

参加者アンケートからも、ワールドカフェ方式について「良かった」との声が多数あり、これからの地区運営委員活動につながる研修会となりました。



グループワークの様子

連合長野

第26回年次大会

連合長野は 10 月 24 日（金）、「ストップ・ザ・格差社会！すべての働く者の連帯で『安心社会』を切り拓こう！」をメインスローガンに、代議員・役員・傍聴あわせて 300 名の出席により第 26 回年次大会を開催しました。



中山会長が挨拶する様子

や南木曾土石流災害をはじめ各地で大きな災害が相次いでいる。被害に遭われた皆さまに心からの哀悼の意とお見舞いを申し上げます。私たちは被災地の復興・再生・生活再建を最優先課題と認識して活動を推進する、②生活者・働く者を犠牲にした成長戦略など言語道断、総力をあげて労働者保護ルール改悪阻止の運動を展開していく、③ 2015 春季生活闘争は、労働運動と労使関係の社会的責任が問われる取り組みとなる。2014 闘争の総括と課題を踏まえ、かつ足下の経済社会情勢を見極めながら、1 月の地方

委員会での方針決定にむけて検討を進めていく、④「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け『組織基盤の強化』『格差是正と労働条件の底上げ』『めざす社会像の実現に向けた政策制度活動』に視点をのけた運動を推進していく、など運動方針の基軸となる考え方を中心に挨拶しました。

来賓では、安永連合本部副事務局長、阿部長野県知事、津田参議院議員をはじめ大勢の来賓が臨席されました。

連合愛のカンパ・連合長野ふれ愛資金からの 2014 年度助成団体のうち 3 団体への贈呈式の後、議案に入り「経過報告」「2014～2015 年度運動の補強方針」「予算」「役員表彰」を行ったのに続き、「ディーセントワークアピール」「特別決議」「大会宣言」を全会一致で採択しました。最後に中山会長は「連合運動の原点を一人ひとりがもう一度自覚し、すべての働く者の抛り所となる力強い労働運動を展開しよう」と挨拶し、会場全員

の「団結ガンパロー」で閉会しました。



参加者全員での力強い団結ガンパロー！

県労組会議 第19回定期総会

長野県平和・人権・環境労働組合会議（県労組会議）は 10 月 21 日、代議員・傍聴者など約 70 人が参加し、長野市内で第 19 回定期総会を開きました。

主催者あいさつで村山智彦共同代表は、「安倍政権の集団的自衛権の行使容認の閣議決定には、多くの県民が反対している。『戦争をさせない 1000 人委員会』を地域・職場など県内津々浦々に結成して、信州の地から安倍政権を包囲する県民運動をつくろう」と強調。

喜多英之事務局長が経過報告と運動方針案を提案。集団的自衛権の行使容認など、安倍政権がすすめる反国民的な政策や右翼的ナショナリズムに労働組合が今こそ、勤労国民とともに対決していく運動を強めていくこと、脱原発エネルギー政策を実現する運動、TPP など世界的自由化政策に反対する活動、地域鉄道やバス路線を守る活動、阿部守一県知事を支持し、労働者の意見を県政に反映させていくなどの方針を提案しました。

討論では、「昭和電工大町工場には 3 つの水力発電所がある。発電やかんがい用水として活用している。2016 年に水利権更新を迎えるが、取水制限などの環境の面だけで

なく、雇用の確保、産業の振興も訴えたい」（昭電大町）、「長野地区労組会議の事務局長を 10 年務めて退任した。後任もよろしく願いたい」（長野地区）、「箕輪町のトラピスジャパンの組合結成の経過を報告してほしい」（須高地区）などの意見・報告がありました。

また総会では、役員を改選、共同代表を 1 名増員し以下の二役を選出しました。

- ◇共同代表 村山智彦（自治労）、同 宮下洋（私鉄県連）、同 太田克彦（国労長野）、同 下條広道（森林労連）、同 事務局長 喜多英之（自治労）



定期総会の様子

長野県労連

第36回定期大会

長野県労連は、9月13日（土）、高校教育会館で第36回定期大会を開催しました。冒頭細尾議長は、「今年度は、県労連結成25周年の節目にあたる年であり、『ベアゼロ攻撃』を跳ね返し、情勢を大きく切り開いたのは県労連の取り組み。大幅賃上げや最低賃金引上げの要求を国民的流れに昇華するためにたまたかいを続けることが存在意義と価値がある。組織を拡大しながら次世代への継承課題も乗り越えよう」と訴えました。



大会であいさつする細尾議長

あり、戦争をさせないという組合結成の原点が問われる一年である。組織拡大では、2万6千人をめざして奮闘しよう」といった総括と提起がありました。

17名の代議員から発言があり、青年部の活動報告では、「県内の青年を結集するさまざまな活動を通じて、団結の大切さを感じた」と青年部長から発言があり、自治労連からは、賃金の総合的見直しへの反撃、沖繩平和ツアーに青年56名が参加し大成功したことの報告がありました。

労福協東部ブロック

「第8期福祉リーダー塾」に参加して

全労済長野県本部事業推進部 紅谷 幸彦

2014年6月20日に静岡県三島市にある東レ総合研修所で受講が開始しました。各県の全労済・労金・地方連合・各生協などから28名の参加者が集まり、まだ梅雨もやまない蒸し暑い中、講義が開始されました。福祉リーダー塾は、「超高齢化社会や成熟社会に対応する新たな運動課題とその方向性の探求と実践」「労働の復権」「市民社会の創造」「労福協や労働組合、労働金庫や全労済の社会的役割と使命の発揮」―豊かな運動経験や専門性と市民社会との融合による次世代運動の創造―などを目的として開設されたものです。参加者はそれぞれの思いを胸に、自身の考えや熱意を成長させてきました。

「地域と職場で労働者福祉運動の新たな創造を担うリーダーの育成」をコンセプトに開始された講義では、事前課題を持ち寄り各課題に分けて様々な議論を重ねました。

私は「協同組合間協同の現代的意義、課題と新しい公共共済事業と社会的貢献」を題にして卒業に向けた論文を書いていきました。講義に参加して自分の思いを形成してきましたが、論文を書くにあたり「理想ばかりを追ってはいけない、実践できる筋道を説くことが重要だ」と思いまして、副題として「共済事業と社会的貢献」を掲げさせていただきました。

10月17日に東京の田町交通ビルで卒業式を向かえ、誰一人かけることなく卒業できたことをうれしく思います。卒業式の間では、各自論文を発表して多くの考えを知ることができました。また、指導いただいた労福協の高橋均さんをはじめ、皆さまの様々な教えを聞くことができ、とても良い経験をさせていただきました。

福祉リーダー塾は我々労働界の担い手であれば見聞を広げるために、世代を問わず受けていただきたい内容です。また次年度も開催される福祉リーダー塾に参加される皆さまに道筋を作れば幸いです。このような場をいただきました労福協の皆さまに改めて感謝します。ありがとうございます。



長野県協同組合フェスティバル2014が開催されました。

10月5日(日) 10時30分～14時30分
長野市エムウェーブエントランスプラザにおいて「長野県協同組合フェスティバル2014」を開催し、関係者や一般の消費者をはじめ2000名を超える大勢の方々に来場をいただきました。

このフェスティバルは、「長野県協同組合連絡会」のもとに設置された「長野県協同組合フェスティバル2014実行委員会」が主催し、長野県内における協同組合連携の一環として、組合員同士の交流や協同組合の活動を県民に広くアピールすることを目的としています。



開会式

フェスティバルの開会にあたり、佐久総合病院GDK吹奏楽団の演奏に続いて、大槻憲雄実行委員長(JA長野中央会・各連合会会長)、ご来賓の長野県県民文化部長の藤森靖夫様(知事代理)、長野市農政部長の広沢吉昭様(市長代理)にご挨拶をいただきました。

会場内外では、36の団体・企業から44のブースが出展し、被災地支援の報告(報道写真パネル展「福島の記録」やコープふくしまからの報告コーナー)、

宮城県水野食品㈱・栄村の特産品販売がありました。また長野県の特産物、加工食品、野菜、果物や生産者・お取引先のお取り扱い商品の販売や試食、くらしに係わる相談、楽しんで学べる体験コーナー、健康チ



ステージ発表

ェックなどの様々な分野での出展があり、ステージでは、協同組合の組合員による演奏や地域の方々のダンスなどが披露され多彩にステージを飾っていました。フェスティバルの結び



報道写真パネル展「福島の記録」

には、上田均副実行委員長(長野県生協連会長理事)が挨拶を行いました。



お餅のふるまい

ながの労福協286号5ページの、長野県生協連 上期役員研修会「平和学習会」を開催!の記事中の、「平和学習会の様子」の写真が間違っていました。ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

60名の参加で熱気にあふれた会場 長野地区暮らしサポートセンターが「相続対策のためのセミナー」を開催!

長野地区暮らしサポートセンターは10月1日(水)トイゴ・長野市生涯学習センターで「今から始める 相続対策のためのセミナー」を開催し60名の市民が参加しました。

本セミナーは相続税及び贈与税の税制改正(平成27年1月1日施行)に向け開催したものです。



開会のあいさつをする「長野地区暮らしサポートセンター」の上原会長

セミナーの講師には『あがたグローバル税理士法



2時間にわたり、わかりやすい講演をいただいた山崎健児税理士

人』の山崎健児税理士を招き、相続対策の基

軸で考える相続対策などを中心に講演いただきました。参加者からは「疑問点が理解でき大変良かった。」「もう一度相続財産の洗

い出しを行ってみたい。」「知らなかったことが聞けたり、勘違いしていたことも判り参加して良かったです。」「等の声が寄せられました。



大勢の市民に参加いただいたセミナー会場の様子

本セミナーを開催した事務局は、「これだけ大勢の人に来ていただいたのは初めてです。相続税制改定に多くの人が関心を持っていただけたと思います。今後

2014年度 長野県勤労者体育大会「4種目」県大会結果

野 球 10/11(土)・12(日) オリンピックスタジアム 県営長野球場	優勝	ヤマト運輸労働組合	長野地区	
	準優勝	G A C 労働組合	中信地区	
	三 位	千曲市職員労働組合	長野地区	
	三 位	J A 北信州みゆき	高水地区	
テニス 10/4(土) 東和田運動公園 テニスコート	男子の部	優勝	シナノケンシ労働組合	上小地区
		準優勝	富士電機労組松本支部	中信地区
		三 位	シチズンマシナリーマノユニオン	佐久地区
		三 位	平和時計労働組合	飯伊地区
	女子の部	優勝	飯田市職員労働組合	飯伊地区
		準優勝	東御市職員労働組合	上小地区
バレーボール 10/4(土) 東和田運動公園 総合体育館	男子の部	優勝	オルガン針労働組合	上小地区
		準優勝	飯田市職員労働組合	飯伊地区
		三 位	小諸市職員労働組合	佐久地区
		三 位	日信工業労働組合	上小地区
	女子の部	優勝	大田市職員労働組合	中信地区
		準優勝	県信連労働組合	長野地区
バドミントン 10/4(土) 南長野運動公園 総合体育館	男子の部	優勝	I H I シバウラ労働組合	中信地区
		準優勝	新光電気労働組合	長野地区
		三 位	松本市職員労働組合	中信地区
		三 位	長野市職員労働組合	長野地区



※本年は、テニスとバレーボールで女子の部が開催されました。

県労福協今後の主な予定

2014年

●11月13日(木) 10:00~
 第22回労働者福祉学校「ホテル犀北館」(長野市)
 テーマ「これからの労働者福祉の在り方を考える」

●11月25日(火) 14:00~
 県政要請「長野県庁」(長野市)

2015年

●1月7日(水) 14:00~
 新春交歓会・講演会「ホテル国際21」(長野市)
 *新春交歓会の前段で、講演会を予定しています。
 講演:「これからの日本の政治・経済の動向について」(仮題)
 講師:須田 慎一郎 氏

●1月20日(火) 13:30~
 構成団体合同研修会「清風園」(千曲市)

お知らせ

第44回長野県消費者大会・消費者問題シンポジウムが開催されます。

日時 2014年11月22日(土)
 場所 長野バスターミナル会館4階 国際ホール
〈第44回長野県消費者大会〉 10:30~12:30
 (主催…長野県消費者団体連絡協議会、後援…長野県)

- 1) 基調報告
- 2) 講演「新しい食品表示基準を考える」
 講師 船田修平氏 消費者庁食品表示企画課・課長補佐
- 3) 構成団体活動報告
 ○岡谷市連合婦人会 ○コープながの

〈消費者問題シンポジウムin長野〉 13:30~16:30

- ~公開シンポジウム「消費者被害をなくすために」~
 (主催…内閣府消費者委員会・長野県消費者団体連絡協議会、後援…長野県・長野市など)
- 1) 基調講演「消費者委員会の活動と消費者被害について」
 講師 河上正二氏 消費者委員会委員長・東京大学大学院教授
 - 2) 基調講演「長野県から消費者被害をなくすために」
 講師 逢沢正文氏 長野県県民文化部消費生活室長
 - 3) パネルディスカッション ~消費者被害をなくすために~

くらし・なんでも相談

シリーズ
No.53



佐藤 豊
弁護士

高齢者を狙った 悪質商法の事例



【事例①】
80歳の母は、1人で年金生活をしていますが、最近、私ที่บ้านに帰る度に羽毛布団など布団が増えており、聞いただと、訪問販売に来て居座られると断りきれず、不要なものでも買わされてしまっていたようです。1人暮らしの母がこれほどの布団は必要ないので、何とかならないでしょうか。

【回答】
高齢化、少子化、核家族化の進行により、高齢者の1人暮らし世帯も増えています。
高齢者は、判断能力や交渉力の低下、情報の不足に加え、生活や健康への不安、相談できる人の減少により、訪問販売等による悪質業者の取引被害に遭うことも多くなっています。老後のための蓄えを有している高齢者は、一度被害に遭うと悪質業者の標的とされ、次々と同様の被害に遭うことも稀ではありません。質問の事例とは異なる

りますが、埼玉県の認知症の高齢者姉妹が、多数の不必要なリフォーム工事をさせられ多額の債務を負った詐欺事件は、社会の注目を集めました。
高齢者の取引被害の解決方法を考える場合、高齢者の状態、取引の内容等により、それぞれ異なります。

質問の事例では、高齢ではあるものの、問題とされるような認知症等による判断能力の問題はないものと考えられますが、ここでは、不必要と思われる布団の量が問題です。
前記の埼玉県の認知症の高齢者姉妹の事例もあり、2008年に訪問販売等による過量販売に契約の解除を認める規定が設けられました。要件は①訪問販売であること②日常生活において通常必要とされる分量を超える売買契約等であること③複数の販売業者による場合は、販売業者等に過量であることの認識があることで、これらの要件を満たす場合、申込者等は契約の解除等ができることとされています。

質問の事例で、1つの業者が販売したのであれば、業者側が過量であること

とを知っていたことはもちろんですが、別々の業者から買わされた場合であっても、過量であることを承知して売りつけた取引については、契約を解除して代金の返還を求めることが可能になります。但し、契約から1年を経過すると解除等はできなくなります。

【事例②】
70歳になる父は、母が亡くなったから認知症の傾向が見られるようになり、電気屋に勧められると1人暮らしでは不相応な大型冷蔵庫を買ってしまおうなど、宣伝文句につられて必要でもない高価な物を次々に買っては後悔しています。
私も様子を見に行くよう心掛けていますが、同居ではないため、このような買い物を防止することもできません。何か良い方法はありませんか。

【回答】
事例1とは異なり、軽い認知症が表れ、買い物をする際にも十分な判断ができないために、必要以上に高価な物や不必要な高価な物を買ってしまうという事例です。
判断能力が不十分な高齢者等を保護するための制度として成年後見制度があります。判断能力の程度により重度のものから、後見、保佐及び補助の3種類がありますが、軽度の認知症とし

て一部不安がある事例2の場合は、補助の制度により保護を図ることが考えられます。

補助の制度では、申立により家庭裁判所が補助人を選任し、選任された特定の法律行為（取引）について、補助人に同意権や代理権が与えられることになっています。本人以外の申立権者の申立てにより補助人を選任し、補助人に同意権や代理権を与える決定（審判といいます）を家庭裁判所がするに、本人の同意が要件とされています。本人が判断能力を全く欠いているわけではないので、その自己決定権を尊重するためです。

補助人に同意権が与えられた取引について、本人がその同意を得ずにした取引等については後に取り消すことができ、本人の保護が図られることとなります。訪問販売または通信販売により10万円以上の売買契約をする場合は補助人の同意を要すると決めておいてもらうと、補助人の同意を得ないでしたこれらの取引は取り消すことが可能になり、本人が後悔することもなくなり、高齢者を対象とした悪徳商法を防止する手段にもなります。

毎月第2土曜日は、弁護士・司法書士・特定
社会保険労務士など専門家相談員による相談
くらし・なんでも相談
ほっとダイヤル
0120-39-6026

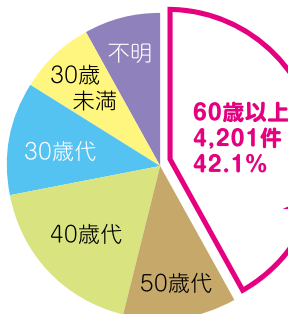
高齢者が狙われています

高齢者の消費者被害が後を絶ちません。

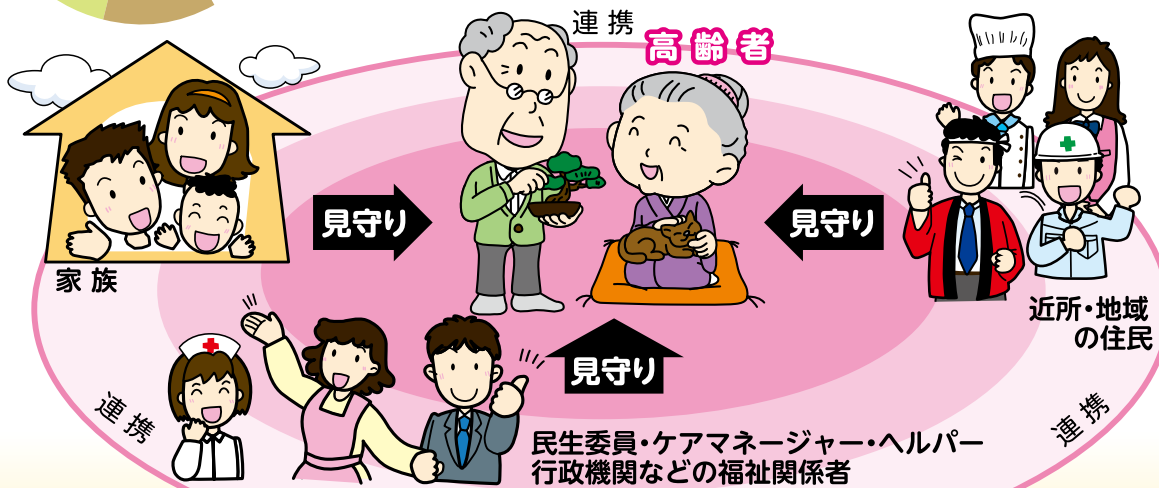
高齢者の一人暮らしや高齢者のみの世帯だけでなく、子どもたちと同居していても、昼間は一人だけになってしまう高齢者も狙われています。また、最近では、特殊詐欺の被害も高齢者を中心に多く発生しており、より一層注意が必要です。

このような被害から高齢者を守るには、ご家族、ご近所、地域の福祉関係者などが、直接声をかけたり、生活状況に気を配ることが大切です。

平成25年度に高齢者の方から寄せられた消費者トラブルの概要



60歳以上の方の相談で多い商品・役務上位5位



高齢者の消費者被害を無くすためにも
地域全体で高齢者を見守りましょう。

資料提供:長野県

一人で悩んで
いませんか!!

長野県多重債務者 無料相談会のお知らせ

借金に関するトラブルで、一人で悩んでいませんか？
弁護士・司法書士による多重債務者無料相談会が開催されます。借金問題でお困りの方は、この機会に相談窓口へお出かけください。

面談は予約制で行いますので、事前に右記の予約先へお電話ください。（※予約は 11 月 25 日（火）から 12 月 9 日（火）までの土・日曜日を除く 8：30～17：00 の間に受け付けています。）



■日 時：平成26年12月10日（水） 10：00～17：00

■会 場（予約・お問い合わせ）：

- ・長野消費生活センター（県長野保健福祉事務所庁舎1階）
☎026-223-6777
- ・松本消費生活センター（県松本合同庁舎4階）
☎0263-40-3660
- ・飯田消費生活センター（飯田市美術博物館隣）
☎0265-24-8058
- ・上田消費生活センター（県上田合同庁舎6階）
☎0268-27-8517

「上伊那労福協まつり」開催
台風接近下 雨にも負けず盛況!



雨の中でも盛況のまつり会場

10月5日(日)、台風18号接近の影響で生憎の天候となりましたが、伊那文化会館隣接の「さわやか広場」において、「2014上伊那労福協まつり」が開催されました。朝から大雨となりましたが、会場内ではローメン、五平餅、広島風お好み焼き、綿あめ：等の模擬店や地産野菜・果物の直売店等がずらりと出店。中でも今年初登場の広島風お好み焼きが大好評で、雨の中でも行列が絶えませんでした。会場の一角には「ちびっこ広場」が設けられ、輪投げゲーム、ヨーヨーつり、ふわふわ風船等が人気を集め、まつり会場は当初の心配をよそに傘の花でいっぱいとなり、思った以上の盛り上がりを見せ約1500名の親子で賑わいました。

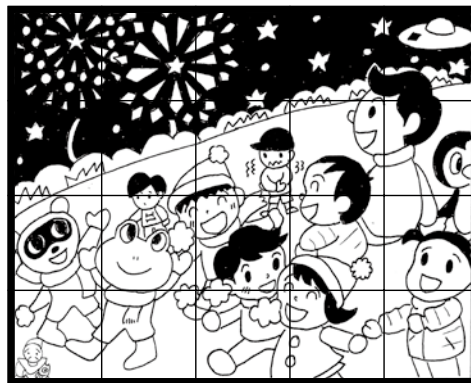
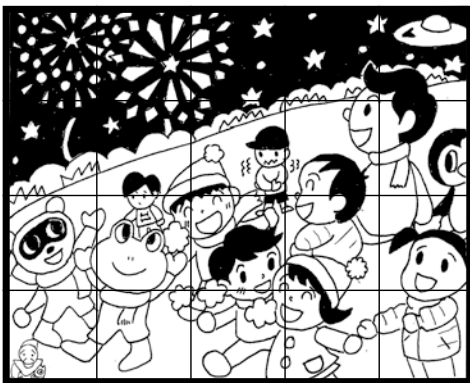
当日は、同文化会館でろうきん伊那支店による「親子ふれ愛アニメまつり」が共催され、アニメ終了後は雨傘姿の親子連れが会場へどっと押し寄せ、屋台での食事やゲームに、ちびっこは大喜びで大いに楽しんでいただけました。

また、会場では諏訪市の心臓移植を必要としている「愛子ちゃん支援カンパ」を実施し、支援団体へ寄付をさせていただきました。今後もこのような交流機会を福祉運動浸透に活かし、地域に元気を与えられるよう地道に歩みを進めてまいります。



屋台は大人気! 行列が続く

- 1 2 3 4 5 1 2 3 4 5



(画：ろうきん 西澤 修氏)

8のまちがいさがし

左に並んだ二枚の絵を見比べて違っている箇所を8つ探して下さい。日頃使わない脳への刺激になるかと思えます。

プレゼントの応募方法が便利になりました!! FAXとホームページからも応募ができます。

プレゼントの応募方法

★その1
長野県
労福協の
ホームページ
下のバナーから
応募ください。

★その2
FAX番号
026
(23)26672

★その3
官製はがき
(宛先は表紙
にありません。
いずれの方法による応募の場合も次の項目を必ずご記入ください。

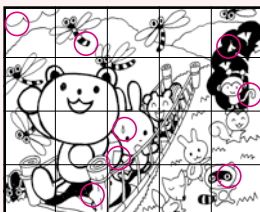
●クイズの答え(8つ)
●労福協の機関紙に対する意見・要望を何か一言。
●住所・氏名・年齢・性別・所属団体(単組名) 又は勤務先。

●正解者の中から抽選で5名の方に図書カード(一、〇〇〇円分)をプレゼント。
●締切り11月30日



http://www.lsc-nagano.or.jp/

前回の正解は 当選者(5名 敬称略)



- 小林 永人 (長野市)
- 小林 素子 (自由市)
- 山崎 晴美 (軽井沢町)
- 浅田 千史 (松本市)
- 上野 陽子 (伊那市)

絆

きずな

御嶽山の突然の噴火に驚かされました。自然のなせる業とはいえ、多くの自然を楽しむ人々を一瞬に恐怖に陥れることに心が痛みます。定年を迎え、新しいカメラをもって紅葉を映そうと登山をされた方もおられると聞き、無念であります。家族や友人と山について語り合い、笑顔で元氣よく家を出ていき、無事の帰りを祈っている皆様に言葉が見つかりません。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

私たちは、いつ自然災害に遭遇するともわからない中で、日々暮らしていることを改めて認識し痛感させられました。そして、3年前の3・11東日本大震災、栄村の震災を忘れてはならないことを再び誓うものです。

日本経済の発展に対して異を唱えるわけはありませんが、日本列島が抱える自然環境を無視しては成り立ちません。自然と共存し、経済を創造する政治のリーダーシップが、今ほど求められることはありません。多くの良識を持った政治家・経済界の皆様は、しっかりと向き合って、今までの方針を修正するものは修正し、変更する勇氣をもち、日本の舵取りについて、間違わない方向性をもっていたいただきたいと思えます。

自然との共生をもっと推進するため、ネットワークを構築する絆を強めなければと思うこの頃です。

(今)

